

公花
KIMIKAWA

岐阜市生まれ。スペインのセビリアを拠点に、
アフリカ最後の植民地支配の影響を受ける西サハラ
の女性たちが身につける民族衣装「メルファ」を使
って制作する。



2

クロス
アート
4

ビロッキング

— 新しい居場所と手にしたもの —

2024.3.29 fri. — 6.23 sun.

開館時間：10:00-18:00 (入場は17:30まで)

夜間開館日：4月19日[金]、5月17日[金]、6月21日[金]は20:00まで(入場は閉館30分前まで)

休館日：月曜日(祝日の場合は翌平日)

観覧料：一般1,000円(900円)、大学生800円(700円)、高校生以下無料

* ()内は20名以上の団体料金

* 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、特定医療費(指定難病)受給者証の交付を受けている方とその付き添いの方(1名まで)は無料

主催：岐阜県美術館

後援：NHK岐阜放送局

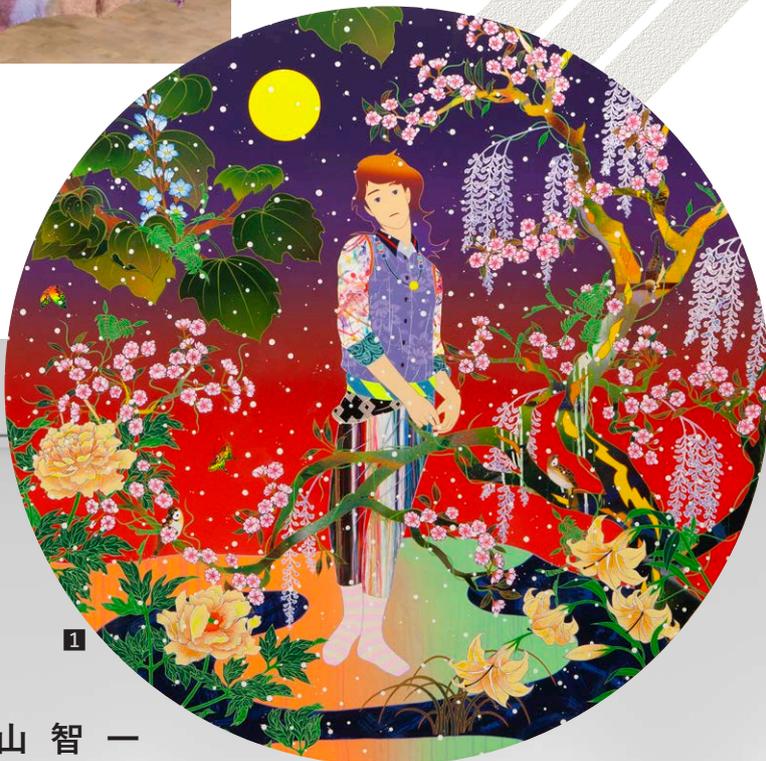
協力：KENJI TAKI GALLERY
KOTARO NUKAGA
MATSUYAMA STUDIO
nomena inc.

山内祥太
YAMAUCHI Shota



5

岐阜市生まれ。彫刻と映像分野で活動する中、
コロナ禍で身体を晒すパフォーマンスに傾倒し、
顔や皮膚、体臭などの肉体の表層をモチーフにする。



1

松山智一

MATSUYAMA Tomokazu

高山市生まれ。2002年渡米後独学で表現様式を確立。

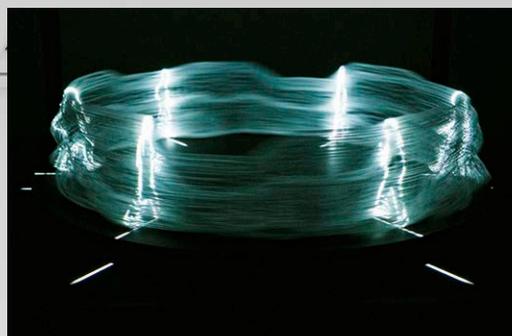
古今東西の美術や大衆文化からサンプリングしたイメージを独自の表現で再構築した作品で世界的な評価を受ける。

後藤映則

GOTO Akinori

各務原市生まれ。キネティック・アートやビデオアート等の先行する動向を受け、
彫刻と映像を掛け合わせながら動きや流れを浮かき上がらせる表現をする。

3



4

横山奈美

YOKOYAMA Nami

羽島郡笠松町生まれ。ネオンサインや消費されていく物を見て描くという行為を通し、私たちが物に与えられた役割や制度を再考する。

1 松山智一《Unthinkable Forgiven》2018年

2 公花《砂漠の幻想的な贈り物 La sorpresa del desierto》2021年 photo: Javier Andrada

3 後藤映則《Crossing #03》2019年 photo: Timothée Lambrecq

4 横山奈美「Shape of Your Words」シリーズ photo: Hayato Wakabayashi

(展示風景「Before/After」広島市現代美術館、2023年 *本展では出品されません)

5 山内祥太《カオ1「Waterfall」》2021年 RICOH ART GALLERY photo: Koichi Takemura

クロスアート4 **ビロッキング**

— 新しい居場所と手にしたもの —

The 4th Crosswaves in Art
Belonging : Achievements of Artists from Gifu



7



6



8



9



10

日本国土のおよそ中央にある岐阜を交差点と見立て、それぞれの方向へと進んでいったアーティストたちを紹介する「クロスアート」展も今回で第4回目となります。岐阜県では、自らのスタイルを磨き、評価を受けているアーティストたちを多く輩出しています。彼らは世界的にも注目を浴びているアーティストですが、岐阜での日常を経験してきた人たちでもあります。一見、多様で包括的になったかに思われる現在にあって、愛着を持つものも、身につけていくことも、所属するところも異なり、次第に逸脱していきます。

英語「ビロッキング」は「所属」や「持ち物」などと訳されます。世界的な活躍をする本展出品のアーティストたちも、かつて身近なコミュニティーに属して同じようなものに囲まれていました。そうした環境を飛び出したアーティストたちは、膨張する「多様性」の中に取り込まれるのではなく、それぞれの居場所とそこでの感性や技術を獲得していきました。

本展では、そうした郷里を巣立ったアーティストたちの到達点から、芸術の現在をお楽しみいただけます。

- 6 松山智一《Blue Monday Frost》2023年
- 7 公花《色鮮やかなる壁の華麗なる反抗 El muro de las resistentes》2014年(西サハラキャンプにて)
- 8 後藤映則《Energy #01》2017年
- 9 横山奈美《Shape of Your Words -S.Y.-》2023年(参考写真:本展では出品されません) photo: Hayato Wakabayashi
- 10 山内祥太《Apparition》2023年

関連プログラム

オープニング・ギャラリートーク

日時: 3月29日(金) 15:00-17:00
会場: 岐阜県美術館展示室3
内容: 出品作家たちによるアーティストトーク
出演: 本展出品作家
[当日参加する作家については当館Webサイトをご確認ください。]
参加方法: 要観覧券、事前申込み不要

アーティストトーク

日時: 3月30日(土) 13:00-15:00
会場: 岐阜県美術館講堂
出演: 本展出品作家
[登壇する作家については当館Webサイトをご確認ください。]
参加方法: 聴講無料、事前申込み不要、定員170名[先着順]

担当学芸員によるトーク

日時: 4月21日(日) 15:00-16:00
会場: 岐阜県美術館多目的ホール
出演: 西山恒彦(岐阜県美術館学芸員)
参加方法: 聴講無料、事前申込み不要

ナンヤローネ アートツアー

日時: 4月21日(日) 13:30-15:00(受付13:00-)
会場: 岐阜県美術館多目的ホール、展示室3
参加方法: 要観覧券、要事前申込み

ナンヤローネ アートアクション

日時: 5月5日(日・祝)
会場: 岐阜県美術館多目的ホール
参加方法: 要観覧券、要事前申込み

会期中、展示や関連イベントに追加を予定しています
その他、詳しくは当館Webサイトにてご確認ください。



【交通案内】

- 公共交通機関ご利用の場合
 - ・JR東海道本線 西岐阜駅南口から徒歩(約15分)
 - ・岐阜バス(鏡島市橋線)
 - JR岐阜駅前[6番乗場]または名鉄岐阜駅前[1番乗場]から「市橋」行きに乗車(約15分)→「県美術館」下車
 - ・岐阜市コミュニティバス
西ぎふ・くるくるバス(1日7便、市橋地区循環)
JR西岐阜駅南口から乗車(約5分、復路30分)
→「県図書館・美術館」下車
すまいるバス(1日9便、三里・本荘地区循環)
→「県図書館・美術館」または「県美術館北」下車
- タクシーご利用の場合
JR岐阜駅または名鉄岐阜駅から乗車(約10分)
- 自家用車をご利用の場合
名神高速道路 岐阜羽島ICから県庁方面へ北進 約10km
東海北陸自動車道 岐阜各務原ICから国道21号線を西進 約10km
- 無料駐車場有
「おもいやり駐車場」(美術館北東)6台有



同時開催

所蔵品展 -4月7日(日)「ルドンコレクションから:聖アントワヌの誘惑」展示室1c/-6月16日(日)「ぎふの日本画
おいしかったよ すばらしい鮎だ 書簡にみる画家と岐阜の人々の交流」展示室1d/4月16日(火)-9月8日(日)「象
一彫刻コレクションから」展示室1ab/4月16日(火)-6月30日(日)「西洋美術コレクションを中心に」展示室1c/4月16日(火)
-6月16日(日)「線・面・痕跡-安藤基金コレクション:20世紀の美術から」展示室2